

2019年度第3回(通算第100回)幹事会議事概要(案)

日 時 2019年12月12日(木)16:00～(正副幹事長会議 15:00～)

場 所 東京ガス四谷クラブ

出席者 23名

議題 1. 来年度事業計画について

来年度事業計画の基本方針、各事業企画及び新規事業について特に意見等なし。

議題 2. 幹事長と事務局長の選任について

幹事長・事務局長適任者の推薦なし。

議題 3. 幹事の推薦について

幹事適任者の推薦なし。

議題 4. 今後の事業実施について

以下のとおり。

1/2 箱根駅伝往路応援(自由)(1区・中大応援団席＝大手センタービル前)

1/3 箱根駅伝復路応援(集合)(10区・中大応援団席＝アーバンネット大手町ビル前)

ゴール後 陸上部報告会で理事長・総長・学長らとともに陸上部にエールを送る。

15:30～新年会(上野精養軒、参加会費 5,000 円) 担当・高橋(駿)幹事

1/17(金) 大相撲観戦&ちゃんこ(観戦チケット代 8,500 円、ちゃんこ参加費 4,000 円)

観戦チケット 10 枚確保(12/12 参加者希望者確認済) 担当・角田幹事

2/8 芝居を観る会(文楽鑑賞)(国立劇場)

チケット 15 枚確保(参加者決定済) 担当・小森幹事

2/16 青梅マラソン出場・応援・慰労会(かんぽの宿青梅)

出場者は 3 名(入江、田口、直井)、応援は自由参加

慰労会(参加会費 4,000 円)は要申込 担当・入江幹事

3/(日時未定) 正副幹事長会議・幹事会・懇親会

3/(日時未定) 桜を見る会・カラオケ同好会

議題 5. 母校白門飛躍募金への協力について

幹事長から、新学部増設、法学部都心移転、駿河台記念館建て替えなど、母校中長期事業計画は大きく進捗しており定時総会懇親会で来賓の大村理事長から白門飛躍募金への協力依頼があった旨の説明があり、併せて募金協力を呼び掛けた。寄付の際は申込書の支部名欄に「白門四一会」と明記することとした。なお、募金協力を当会事業とするかについては次回幹事会で検討することとした。

(注)白門飛躍募金は、中長期事業計画を支える「Chuo Vision 2025 募金」と、本学学生の学業や課外活動等を支える「中央大学サポーターズ募金」で構成され、寄付金の使

途指定ができる。

その他 なし。

報 告

○小林喜平太幹事逝去 2019.5.28 肺炎のため逝去

○前回幹事会以降の事業実施状況は以下のとおり。

9/20 会報「白門 41 会だより」第 62 号発行

9/25-26 栃木喜連川温泉バス旅行会開催 参加者 25 名

9/29 第 28 回ホームカミングデー参加(後樂園キャンパス、東京ドーム「天空」) 参加者 9 名

10/9 下町散歩(人形町界隈)開催 参加者 10 名

9/9-10/24 東都大学野球秋季リーグ戦応援(神宮球場) 参加者延べ 30 名

10/21 ゴルフコンペ開催(小川 CC)

10/26 第 96 回箱根駅伝予選会応援(立川) 参加者 10 名

11/9 菊を観る会(新宿御苑) 参加者 7 名

カラオケ同好会(四谷クラブ)開催 参加者 11 名

11/18 第 50 回記念明治神宮野球大会(全国大会)応援 参加者 8 名

11/ つり大会(江戸川河口) 中止

12/9 駿河台記念館閉館記念式典出席 1 名

※駿河台記念館は建て替え準備のため閉館。新校舎完成までの間、学員会本部は神保町駅近くの一ツ橋ビルに移転し、支部の会議スペースも用意される見込み。

◆学員会本部の移転先・移転期間

移転先 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-3 一ツ橋ビル4階

最寄り駅 都営新宿線・三田線・東京メトロ半蔵門線「神保町」から徒歩 2 分

東京メトロ東西線「竹橋」から徒歩 6 分

移転期間 2020 年 1 月 14 日～2023 年 3 月頃

◆学員会本部事務局の新電話番号等

新電話番号 03-6265-2836(2020.1.14～)

新 FAX 番号 03-6265-2838(2020.1.15～)

◆会議室貸し出しについては、学員時報次号(2020 年 1 月下旬発行)に掲載予定。

○学員会支部活性化支援費申請(ホームページ改良による活性化)。次頁参照。

忘年懇親会

幹事会終了後 17:00 から 26 名が参加して忘年懇親会を開催した。

■ホームページの改善・充実による支部活性化の試み(学会会支援成果報告書案)

2019年度学会会支部活性化支援を得て、当会ホームページを開設以来17年間蓄積された情報を再構築するとともにそれ以前の情報も追加し改善・充実した。これにより下記のとおり当会活性化の一助となることが期待できる。

1. 豊富な情報、見やすい画面、タイムリーな発信

事業計画、事業実施状況、会員近況などをタイムリーに掲載し、各記事には写真を多用し臨場感を高めるとともに、ホームページ内の他の記事や会報記事はもとより、大学・学会本部・各支部その他のインターネット情報にもリンクを張り、できる限り関連情報も参照できるようにした。

また、過去の記事についても写真配置やリンクを含む構成内容など画面表示を改良するとともに、ホームページ創設以前の情報も追加し、当会創立以来の活動状況を容易に閲覧できるようにした。

これによって、会員の活動参加意識・意欲が高まるとともに、ホームページの記事にも関心が向き、アクセスの増加も期待できる。

2. 「トピックス総目次」の構築

当会活動の全容並びにその軌跡と現況を容易に閲覧できるようにするため、沿革、規約、組織、役員、募金協力、会報、各種事業計画、年間予定、幹事会一覧、定時総会・イベント一覧、過年度事業報告一覧、各種事業実施状況、会員近況報

告・エッセー、受賞、訃報など当会情報を一括した「トピックス総目次」を構築した。

この「トピックス総目次」により、当会創立以来の各種活動状況や予定などがワンストップで閲覧でき、会員同士の情報の共有が容易になる。例えば記憶が曖昧な古い行事が話題になった場合でも即座にスマホなどで参加者の写真や活動状況を確認することにより、共通の話題が増え、親睦が深まることが期待できる。

3. 支部を超えてアピール

ホームページは、会員にとどまらず誰でも容易に閲覧できることから、ホームページの改善・充実により未入会同期生を含む会員及び社会へもアピールすることができる。その場合、年次支部の立場からは、同期生へアピールできれば、同期生の拠り所になるとともに新規入会者も期待できる。また、他支部などから当会活動が認知され評判がよければ会員の帰属意識も高まる。

以上